

※結果分析(○できている ●できていない)

〈学力調査〉

【国語A】

○文章中に用いられている表現技法を正しく理解できている。また文脈に応じた語句を適切に使うことができている。

●読んで考えをまとめて書く力が弱い。品詞やことばのきまりが身につけていない。

【国語B】

○状況に応じて資料を活用して話したり、効果的な資料を作成、活用して話したりすることができる。

●文章の要旨を捉える力が弱い。理由を説明したり、要約する力が弱い。自分の考えを表現できていない。

【数学A】

○正負の数や方程式などの数式計算や問われている値を求めたりする基本的な問題は解けている。

●用語の意味が正確に理解できていない。立式や作図などの根拠を答える力が弱い。

【数学B】

○資料の活用についての問題では正答率が高くなっている。

●長い文章の読み取りができていない。説明をする問題や証明問題が書けていない。応用力の必要な問題に対応できていない。

【理科】

○地学分野(天気)に関してはよく理解できている。音に関する問題では記述問題が比較的よくできている。

●基本的な用語の理解と計算ができていない。たくさんの資料から必要なデータを取り出して分析することが苦手である。

〈学習状況調査〉

○読書をしたり、新聞を読んだりしている生徒の比率は多い。
多くの生徒が地域の行事に参加して自然や地域の人とふれあう機会を持っている。

●家庭学習を1時間以上している生徒が半数しかなく、全国・県に比べかなり低い。低い家庭での学習時間不足のため復習ができていない実態がある。反面、ゲームやスマホの利用時間は2時間を超える生徒が4割に達しており、全国・県平均を上回っている。

〈学校としての対応・目標〉

国語A以外は全国平均を下回っています。学習事項の定着に向け、努力します。

①授業に力を入れます。

- ・毎時間の中で復習(小テスト、暗記、重要事項の発問)の時間を設ける。
- ・ICT機器などの視覚的な教材を使ったわかりやすい授業を工夫する。
- ・じっくり考える場面、活動する場面、発表する場面を設定する。

②学習習慣をつけられるようにします。

毎日の課題(デイリーワーク)と週末課題(ウイークリーワーク)によって、一定量の学習時間を確保して、毎日復習をし、必ず提出する習慣をつける。

〈保護者の皆様へお願い〉

課題とその提出状況をテスト連絡票でご家庭にお知らせしています。提出の遅れも含め、お子様の家庭学習の達成度をご確認ください。決まった時間に勉強するなど家庭学習の習慣が身につくよう、励ましの声をかけてくださると子どもたちもがんばれると思います。スマホの使用や就寝時間については家庭でルールを決めていただき、お子様とのコミュニケーションを大切にしてください。